

令和7年第10回函館市教育委員会定例会 会議録

- | | |
|--------|---|
| 1 日 時 | 令和7年（2025年）10月20日（月） 午後1時30分 |
| 2 場 所 | 市役所本庁舎5階教育委員室 |
| 3 出席者 | 藤井教育長，木村委員，小葉松委員，國谷委員，井口委員 |
| 4 欠席者 | |
| 5 事務局 | 土生生涯学習部長，堤学校教育部長，宮田生涯学習部次長，
上野学校教育部次長，鈴木管理課長 |
| 6 傍聴者 | 0人 |
| 7 付議事項 | 別紙議事日程のとおり |

■藤井教育長

- 開会宣言 午後1時30分
- まず，日程第1，議事録署名人の指名について，木村委員，小葉松委員を指名する。
- 本日の日程のうち，日程第5 報告第3号「市立学校に勤務していた教諭の逮捕について」を「非公開」としたいが，いかがか。

（異議なし）

■藤井教育長

- 異議がないので，「非公開」とする。
- 次に日程第2，月間事業報告について，事務局の動きについて報告を求める。

■生涯学習部長

- はじめに10月13日だが，2025函館マラソンコミュニティランニングが千代台公園陸上競技場で開催され，計222名の方にご参加いただいた。
- 次に，10月18日から20日までの日程で，「児童生徒書・美術展」が，芸術ホールで開催され，函館市青少年芸術教育奨励賞の書・美術部門の入賞作品が展示されたほか，音楽部門受賞者の演奏動画上映，文学部門受賞者の作品集の配布が行われた。
- また，この期間において，「教育委員会所管施設のネーミングライツパートナーの再募集について」参考資料を配付したほか，教育委員会に寄せられた市民の声を，Googleドライブにアップロードしているので，後ほどご覧いただきたい。

■学校教育部長

- 10月9日だが，北海道教育委員会の移動教育委員会が，函館市国際水産・海洋総合研究センターで開かれた。会議には藤井教育長が出席し，「多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない「令和の日本型学校教育」の推進に向けて」をテーマに，不登校児童生徒への支援や，特別支援教育の推進に関する事例発表や，北海道教育長や北海道教育委員，関係機関との意見交換が行われたほか，翌10日には，南北海道教育センターで取り組み

に関する発表や視察等が行われた。

■藤井教育長

- 北海道教育委員会の移動教育委員会については、北海道教育長と教育委員が来函された。中島教育長をはじめ青山委員、大鐘委員に両日ともに高い評価をいただけたことを申し添える。
- 事務局の動きについて何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 次に、日程第3 報告第1号「第35回函館市青少年芸術教育奨励事業受賞者の決定について」生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

- 函館市青少年芸術教育奨励事業について、今年度の受賞者一覧を添付しているが、音楽、書、美術、文学部門の4部門すべての受賞者が決定した。
- 音楽部門では、総数36人の応募があり、8月17日に芸術ホールで開催した音楽コンクールにおいて受賞者を決定し、書部門では、総数213人の応募があり、9月7日に亀田交流プラザで開催した「席書大会」において受賞者を決定した。美術部門には、総数230人、文学部門には総数419人の応募があり、それぞれ9月19日と30日に本審査を行い、受賞者を決定した。

■藤井教育長

- 報告第1号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 次に、日程第4 報告第2号「令和7年函館市文化賞受賞者の決定について」生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

- 9月25日に開催された函館市文化賞審議会において、音楽文化の振興と後進の指導育成に尽力された、布施谷 信子 氏、「函館西部地区バル街」を開催し、地域経済に好影響を与え、本市のブランド力向上に貢献された、函館西部地区バル街実行委員会、「函館要塞」の調査研究と、地域の自然環境保護に貢献された、木村 マサ子氏を、令和7年函館市文化賞受賞者に決定した。
- 贈呈式は、10月31日(金)にプレミアムホテル - CABIN PRESIDENT - 函館で行うが、別途ご案内を送付するので、ご出席方よろしく願います。

■藤井教育長

- 報告第2号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 次に、日程第5 報告第3号「市立学校に勤務していた教諭の逮捕について」学校教育部長から説明を求める。

(非公開につき、議事録省略)

■藤井教育長

- 次に、日程第6 「令和8年度予算要求について」生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

- 令和8年度予算については、10月から具体的な編成作業が始まっている。教育委員会として、令和8年度予算で、どのような施策を掲げ、どのようなことに取り組むのか、例年同様ではあるが委員の皆さんと意見交換を、来月11月の定例会でさせていただきたいと考えている。
- お配りしている資料の内容だが、函館市教育振興基本計画に掲げている基本目標ごとに、本年2月に開催された市議会定例会における教育行政執行方針の中で取り上げた具体的な取組事項と令和7年度の予算額を記載したものである。
- 基本目標1「変化する社会を生きる力の育成」には、重点事項である「誰一人取り残さず個々の可能性を最大限に引き出す教育の実現」として特別支援教育支援員やスクールカウンセラー、不登校生徒支援のための非常勤講師などの取り組みを記載している。
- 基本目標2「地域とともにある学校づくりの推進」には、コミュニティ・スクールの推進のほか、部活動地域移行等推進事業費などを記載している。
- 基本目標3「函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成」では郷土学習推進といった函館の良さを感じることのできる教育活動などに係る取り組みを、基本目標4「生きがいを創り出す生涯学習の推進」では市民の生涯にわたる学習活動の場を提供などについて、記載している。
- 基本目標5「心の豊かさを育む文化芸術の振興」には、文化芸術団体が持続的に活動できるよう、活動費の補助のほか、文化財の保存・活用や世界文化遺産等の活用および受入体制の充実などを記載している。
- 基本目標6「健やかな心身を育むスポーツの振興」では「函館マラソン」の開催、スポーツ施設の整備などに係る取り組みを記載している。
- 本日お配りした資料を、一つの参考としていただきながら、来年度の予算編成について、委員の皆さんからご意見を頂戴したいと考えている。

■藤井教育長

- ただいまの件について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

○ 次に、日程第7「今後の主な日程について」管理課長から報告を求める。

■管理課長

○ 次回、令和7年第11回定例会は11月5日（水）の開催を予定している。11月25日（水）には総合教育会議の開催を予定している。その他の日程として、函館文化賞贈呈式が10月31日（金）午前11時からプレミアホテル-CABIN PRESIDENT-函館で開催されるほか、函館市民文化祭が、10月30日（木）から11月3日（月）まで芸術ホールで、11月13日（木）から16日（日）まで市民会館で開催される。また11月1日（土）、2日（日）には第59回南茅部地域文化祭が南茅部総合センターで開催される予定となっている。

■藤井教育長

○ これで、定例会を終了する。

■終了宣言

○ 午後1時58分

議事録署名人 木村 雅彦

〃 小葉松 洋子

調製者庶務係 庭田 真由